



NEW

新木場に区内最大の防災倉庫を整備

事業名 (仮称)新木場防災倉庫整備事業

予算額 1,770万円

POINT

- 災害に備え、本区最大の防災倉庫を整備！
- 新木場のポテンシャルを活かし物資輸送を円滑化



<整備予定地(赤枠)>

事業概要

現状・背景

- 区では、区内各地域に防災倉庫(25か所)、備蓄倉庫(86か所)を整備していますが、多くは人口密集地域に位置しており、発災時に円滑な物資輸送が困難となる可能性があります。
- 令和6年能登半島地震を受け、区の食料備蓄量を避難所生活者の1日分から2日分へ段階的に拡充しています。また、多様なニーズに合わせた災害支援物資の備蓄強化を進めており、保管場所の確保が課題となっています。

事業内容

予定地	江東区リサイクルパーク跡地(新木場2-7-6)
敷地面積	4,153.9㎡
建物規模	延床面積2,000㎡程度を想定(設計の中で検討)
特徴	災害時の物資輸送を円滑に進めるため、敷地内で大型(10t)トラックが十分に転回及び駐車できるスペースを設けます。

効果

- (仮称)新木場防災倉庫の整備後は、食料3日分の備蓄を行える規模の施設となり、食料以外の物資の充実も図ることができます。
- 新木場の立地や広い敷地面積を活用することで、陸路だけでなく、海路や空路での機動的な救援活動・物資輸送への展開も期待できます。

スケジュール

時期	内容
令和7年度～令和8年度	設計
令和9年度～令和10年度	工事



担当課:防災課
電話:3647-9587